

部会だより(電気電子情報工学部会)

電気電子情報工学部会々報

http://www.kgudenki.jp

No. 33
発行責任者
岡田 光晴

部会長挨拶

会長 岡田 光晴
(電気69年度卒)



燦葉会会員の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。今年の3月11日に発生した東日本大震災にあわれた方々に対し心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されますようお願い申し上げます。

さて、昨年11月には部会と学科が連携し学科設立60周年記念行事を総会に代わる行事として位置づけ、大学チャペルにおきまして開催いたしました。式典には約100名ほどの卒業生、教員、在校生、そして退職された教員の皆さんにお集まりいただき、チャペルオルガニストの小島直子氏による荘厳

なパイプオルガンの演奏に始まり、本学科OB白井幹夫氏(自動車部品工業(株)代表取締役社長)による講演や、グリークラブOBの皆さんによる合唱のご協力をいただき盛大にかつ厳粛にお祝いすることができました。

今年度の総会につきましては、学科との連携の一層の強化と、会員相互のコミュニケーションを図る場として、神奈川県内に建設中のメガソーラー設備の見学会を企画いたしております。日程は11月と考えております。詳細については部会ホームページをご覧くださいと思います。

この見学会の目的は、参加者を部会会員のみならず、学生、学科の先生方にも拡大し、電気に関わる者として国家プロジェクトである再生可能エネルギー技術の一端を学ぶことにより、日本のエネルギー政策に関心を持っていただくことと、この見学会を通じて参加者全員のコミュニケーションを図りたいと考えております。大いに期待していただきたいと思います。

今や、我が部会の卒業生は約6,800余名と7,000人に迫る大所帯

になってまいりました。その内 5,

105名の会員の方々にこの部会報をご覧いただいておりますが、なかなか部会活動まで会員の皆様にまで深く浸透していない現状があります。言うまでもなく、部会活動の大きな柱は活動基金の安定確保と学科との連携です。このことは、部会活動を支えるために、これからにおいても変わることはありません。今年から、フェイスブックやミクシイ等のITを最大限活用し、広く会員の皆様の英知を集め、部会活動の活性化を図ってまいりたいと思っております。どうぞこれからも皆様の積極的な参加とご意見を賜りますよう、今後一層のご協力をお願いいたします。

電気電子情報工学科の近況について

電気電子情報工学科学科長 銭 飛



皆さん、ご無沙汰しております。お元気でしょうか。

歳月の過ぎ去りは本当に速いもので、気がついたら、2011年度もその半分を経とうとしております。昨年、燦葉会電気電子情報工学部会をはじめ、諸先生の努力と皆様のご協力を頂き、学科設立60周年という大きい記念行事を成功させたことについて、この場を借りて感謝の意を表させていただきますと思います。また、去る3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震におきまして、甚大な被害に遭われました方々、また、ご家族近親者ご友人の方が被害にあわれた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

さて、恒例ですが、学科の近況をお知らせいたします。2011年度4月時点での学部入学者数は95名、学部生の内在籍者の総数は358名となっております。一方、大学院電気工学専攻の入学者数は、博士前期課程9名、博士後期課程1名、前後期課程の合計在籍者数はそれぞれ14名、7名となっております。電気電子情報関連の各分野において積極的に研究活動を行っております。なお、これまで長く学科の教育に力を尽くしていただいた難波典之教授は2010年度末を以って完全退職されました。2011年度は、工学部としてコース制入試を導入してからの3年目にあたり、前年度に比べ、本学科に関連する電気電子コース、ロボットコース制

